

夕暮れの 人文書

#1

東京大学本郷キャンパス
伊藤国際学術研究センター3階中教室

2025・3・26
水
17:00
▼
18:30



「本来存在しないはずしたのか。植民地時代はずのない国家を生み、主に東南アジアのカタールとバーレーン

行政単位と比較することで、これらの地域がなぜ単独で独立し、他はより大きな国家に併合されたのかを明らかにする。石油の存在と保護領制度という現地支配者の維持と保護を与える植民地統治の形態が、本来誕生するはずではなかった小国を生み出した。

の国家」はなぜ誕生の石油はなぜ、ある出したのか。本書はブルネイと中東のを周辺の植民地

主催：東京大学未来ビジョン研究センター 安全保障研究ユニット



Security Studies Unit



東京大学未来ビジョン研究センター
Institute for Future Initiatives
The University of Tokyo